

No.022 (不定期刊)

"Great Wall" Street Journal

長城街日報

～中国株の現場から～



東洋証券株式会社
上海駐在員事務所 所長
奥山 要一郎
2007年入社。本社シニアストラテジ
スト等を経て、2015年より現職

中国に“天津飯”はない！

先日、中国内陸部の甘肅省蘭州を訪れた。上海から空路で2時間超。はるばる行った目的は、もちろん「蘭州牛肉面」を食べること！ 東京神保町で行列の出来る店として有名な「馬子禄牛肉面」。その蘭州本店を訪れ、本場の麺を汗をかきながらすすってきた。細麺のモチモチ感、ラー油と出汁スープの絶妙なコンビネーション、食べ応えのある牛肉……。間違いなく、自分史上最高の牛肉面だった。

★ ★ ★ ★ ★

中国では地名の付いた名物料理がたくさんある。有名なのは「北京ダック」「上海ガニ」「重慶火鍋」などだろうか。出張や旅行、アテンド先で地元料理を出すレストランを訪れるのは大きな楽しみの一つだ。北京ダックの名店「全聚徳」は上海にも支店を出しているが、やはり北京の空気の中でジューシーな肉をほうばる方が美味しい（気がする）。

江蘇省揚州の名を冠した「揚州炒飯」は、いわゆる五目チャーハン。シンプルな味で万人受けする。飯（メシ）をガッツリ食べたいときにはいつも注文してしまう。ビーフン料理の「桂林米粉」も人気メニューだ。日本では焼きビーフンとして食べることが多いが、本場ではやや太めのビーフンを茹でて食べるのが一般的。汁ありと汁なしがあるが、いずれも薬味や唐辛子などをトッピングして味を調整する。

「海南鶏飯」もポピュラーになってきた。文字通り、蒸した鶏肉をご飯と一緒に食べるチキンライス。チリソースや甘辛醤油ソースに病み付きになる人も多い。シンガポールで有名な料理なので、海外への広まりも早いようだ。また、



本場の蘭州牛肉面は1杯8元(約125円)。安くてウマイ！

浙江省金華の名物「金華火腿（ハム）」も外せない。スープや煮込み料理の出汁として使われることが多いが、イタリアのプロシュット・ディ・パルマ、スペインのハモン・セラーノと並んで世界三大ハムの一つに数えられている。

変わりダネでは「福建炒飯」という“あんかけチャーハン”もある。十数年前、中国で中国語を学び始めたばかりの私は食べ物の名前が全く読めず、唯一発音できたこのチャーハンをいつも学食で頼んでいたものだ。おかげで、最初の1カ月はほぼ毎日チャーハン漬けだったのだが……。

ところで、名古屋など中京圏で人気の「台湾ラーメン」だが、台湾にはそもそもない。台南名物の担仔麵と四川省の担担麵を掛け合わせて激辛風にアレンジした“日本風ラーメン”と言えるだろうか。そして、天津に「天津飯」というものも存在しない。

★ ★ ★ ★ ★

さて、日本では、大衆的な中華料理屋さんを指す「町中華」が人気です。定番メニューは「エビチリ」などでしょう。しかし、中国には「エビチリ」はありません！ これを聞いてガックリする日本からのお客様を何人見てきたことでしょうか。

そんな方に朗報ですが、中国でほぼ唯一と言える“日本風中華料理店”が上海にあります。先日お邪魔し、しっかりエビチリもオーダーしてきました。確かに町中華の味です。本場で“日本発祥の独特な中華料理”を食すのは不思議な気もしますが……。まあ、辣椒（唐辛子）や花椒（中国山椒）などパンチの効いた香辛料でやられた胃腸にとって、時にはマイルド中華もいいのかもしれない。

文中の見解は全て筆者の個人的意見です。写真、グラフ、表なども全て筆者によるものです。

最終頁に重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

◆ 注 意 事 項 ◆

東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第121号
 日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 加入

外国証券等について

・外国証券は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

手数料等およびリスクについて

① 国内株式の手数料等およびリスクについて

・国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2420%（税込み）、最低3,240円（税込み）（売却約定代金が3,240円未満の場合、約定代金相当額）の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 外国株式等の手数料およびリスクについて

・外国株式等の売買取引には、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して最大0.8640%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

・国内店頭取引については、お客さまに提示する売り・買い仕切価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い仕切価格との差がそれぞれ原則として2.75%（手数料相当額）となるように設定したものです。当該仕切価格には手数料相当額が含まれています。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

・投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

利益相反情報について

この資料を掲載後、掲載された銘柄を対象としたEB等を東洋証券（株）が販売する可能性があります。

東洋証券（株）および同関連会社、またその役職員はこの資料に掲載されている企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

この資料は、東洋証券（株）が各種のデータに基づき投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。また、この資料に記載された情報の正確性および完全性を保証するものでもありません。この資料に記載された意見や予測は、資料作成時点の見通しであり、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

この資料に基づき投資を行った結果、お客さまに何らかの損害が発生した場合でも、東洋証券（株）は、理由の如何を問わず、一切責任を負いません。株価の変動や、発行会社の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがありますので、投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

なお、東洋証券（株）および同関連会社の役職員またはその家族がこの資料に掲載されている企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。

この資料の著作権は東洋証券（株）に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

東洋証券株式会社

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1
 TEL 03 (5117) 1040

<http://www.toyo-sec.co.jp/>

2019年6月17日
 審査部審査済